



外国出張報告書

平成 25 年 7 月 17 日

1. 出張国名 ガーナ、ブルキナファソ
2. 出張月 平成 25 年 6 月
3. 出張目的 生産技術と資材供給に関する現地調査及び統計資料の入手：A

4. 成果の概要

保全農業導入が及ぼす影響の予測に用いる多部門を含む経済モデルの構築のため、ガーナ・ブルキナファソ両国で政府機関、国際機関、そして援助機関等を訪問し、ウェブで未公開の統計の収集を行った。また在来農業の実体を把握するためブルキナファソの農村を訪問し、インタビューを通して情報の収集を行った。その結果、調査地域は肥沃度の保全と水資源の確保の面で脆弱な条件に置かれており、現在よりも高い収量を実現し維持するには、作目の組み合わせや畜産との兼ね合いなど、複数の考慮すべき要素が存在する。したがって今後の経済分析では、当該地域の農業を作目ごとの個別の生産活動ではなく、複合的な生産活動と捉えて分析することが必要となる。